

# AWS Black Belt Online Seminar

## AWS Backup で考える DR 戦略 #2 PITR 編

**Tran Quoc Phuong**

Cloud Support Engineer

2025/10



# 自己紹介

## Tran Quoc Phuong

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社  
技術支援本部 クラウドサポートエンジニア



### 好きな AWS サービス



AWS Backup   Amazon Simple Email  
Service (Amazon SES)



© 2025, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

# AWS Black Belt Online Seminarとは

- ・ 「サービス別」「ソリューション別」「業種別」などのテーマに分け、  
アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社が提供するオンラインセミナーシリーズです
- ・ AWS の技術担当者が、 AWS の各サービスやソリューションについてテーマごとに動画を公開します
- ・ 以下の URL より、過去のセミナー含めた資料などをダウンロードすることができます
  - > <https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/aws-jp-webinar-service-cut/>
  - > <https://www.youtube.com/playlist?list=PLzWGOASvSx6FlwIC2X1nObr1KcMCBBlqY>



ご感想は X (Twitter) へ！ハッシュタグは以下をご利用ください  
#awsblackbelt

# 内容についての注意点

- ・ 本資料では資料作成時点のサービス内容および価格についてご説明しています。AWS のサービスは常にアップデートを続けているため、最新の情報は AWS 公式ウェブサイト (<https://aws.amazon.com/>) にてご確認ください
- ・ 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格と AWS 公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS 公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます
- ・ 価格は税抜表記となっています。日本居住者のお客様には別途消費税をご請求させていただきます
- ・ 技術的な内容に関しては、有料の [AWS サポート窓口](#)へお問い合わせください
- ・ 料金面でのお問い合わせに関しては、[カスタマーサポート窓口](#)へお問い合わせください (マネジメントコンソールへのログインが必要です)

# 本セミナーの対象者

- AWS Backup 基礎編を視聴いただいた方
- AWS Backup の導入・運用において、以下の課題をお持ちの方：
  - 頻繁に更新されるリソースの人為的ミス対策を強化したい
  - より細かい精度でのバックアップ・復元が必要
  - 厳格な RPO 要件でデータ損失を最小限に抑えたい
- AWS Backup でバックアップ・復元を実行されたことがある方

# アジェンダ

1. AWS Backup における継続的なバックアップと PITR
2. AWS Backup での PITR 対応サービスとその仕組み
3. 継続的なバックアップの設定
4. PITR を行う復元操作
5. PITR の考慮事項
6. まとめ

# AWS Backup における 継続的なバックアップと PITR

# RPO/RTOについて

## RPO(Recovery Point Objective)

最後の復旧可能時点からサービス中断までの間にどの程度のデータ損失を許容するか

## RTO(Recovery Time Objective)

サービスの中止から復旧までにどの程度の時間を許容するか

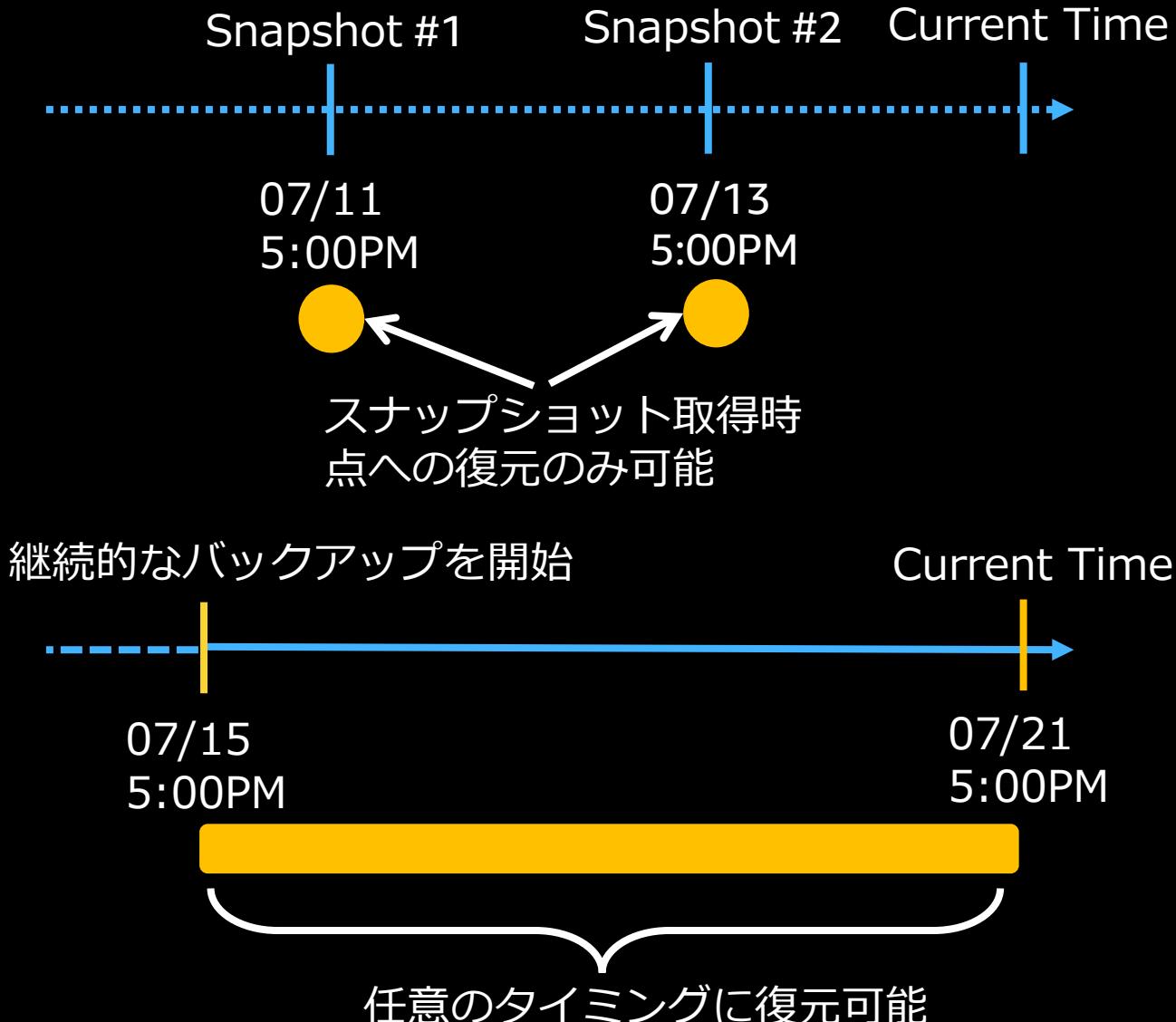


## PITR(Point-In-Time Recovery)

バックアップデータを継続的に記録し、任意の時点の状態にデータを復旧する

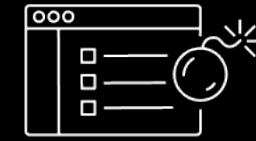
# AWS Backup における継続的なバックアップと PITR

- AWS Backup の継続的なバックアップを使用される際に、継続的にデータの変更を記録し、特定の時点の状態を復元できる
- 1 秒精度まで復元することができ、データ損失や障害からの復旧に効果的
- スナップショットベースのデータ保護と併用することができるが、継続的なバックアップは利用できるサービスと利用できないサービスがある

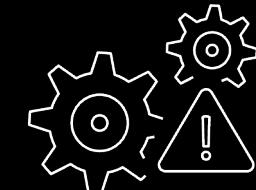


# PITR の主なユースケース

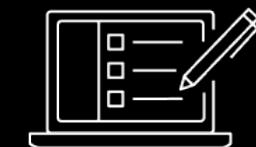
- ・ アプリケーション障害からの復旧
  - バグやシステム異常によるデータ破損
- ・ 人為的ミスからの復旧
  - 誤操作、設定ミス、運用ミス
- ・ 災害対策とビジネス継続性
- ・ コンプライアンス・監査対応
  - 特定時点のデータ状態を正確に再現する必要がある場合



バグ、システム異常やマルウェアなど



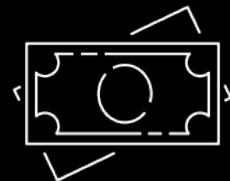
人為的ミス



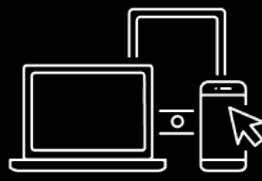
監査対応

# PITR の活用事例

- ・ **決済サービス**: トランザクションの整合性を保証し、不正行為や誤処理からの復旧に活用
- ・ **予約システム**: 航空会社やホテルなどの予約システムにおいて、粒度の細かい時間軸での特定時点に復元する必要がある
- ・ **銀行・証券会社**: 取引記録の正確性が法規制で要求され、特定時点の財務状態を復元できる必要がある



決済



予約データ

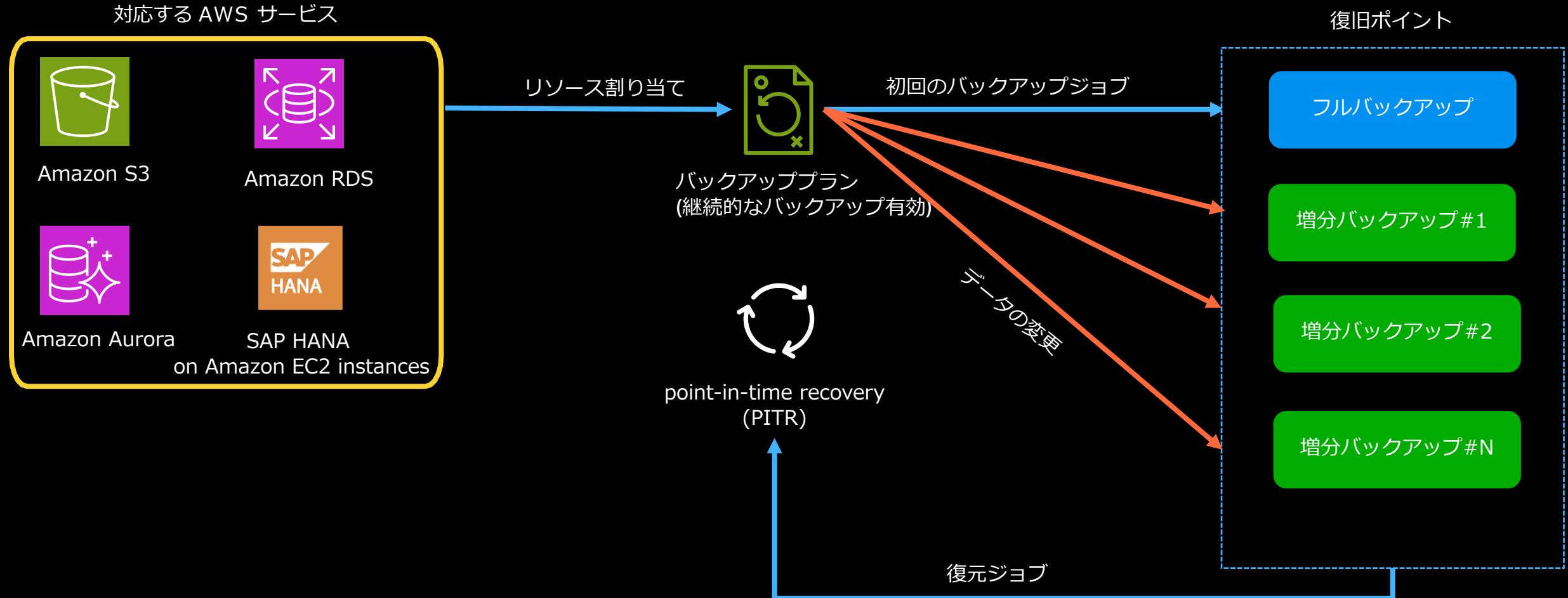


法規制など

細かい精度のリカバリポイントが要求される用途

# AWS Backup での PITR 対応サービスと その仕組み

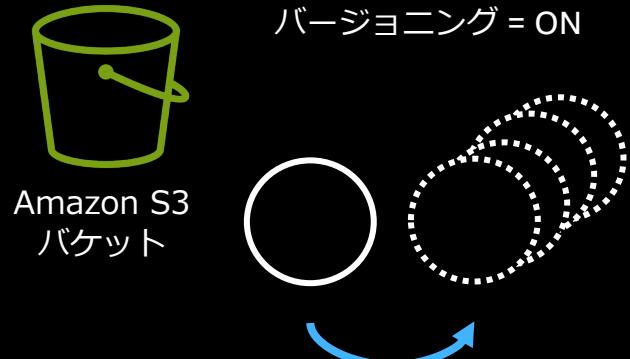
# PITR の全体像



# Amazon S3 における継続的なバックアップ

## ～前提条件

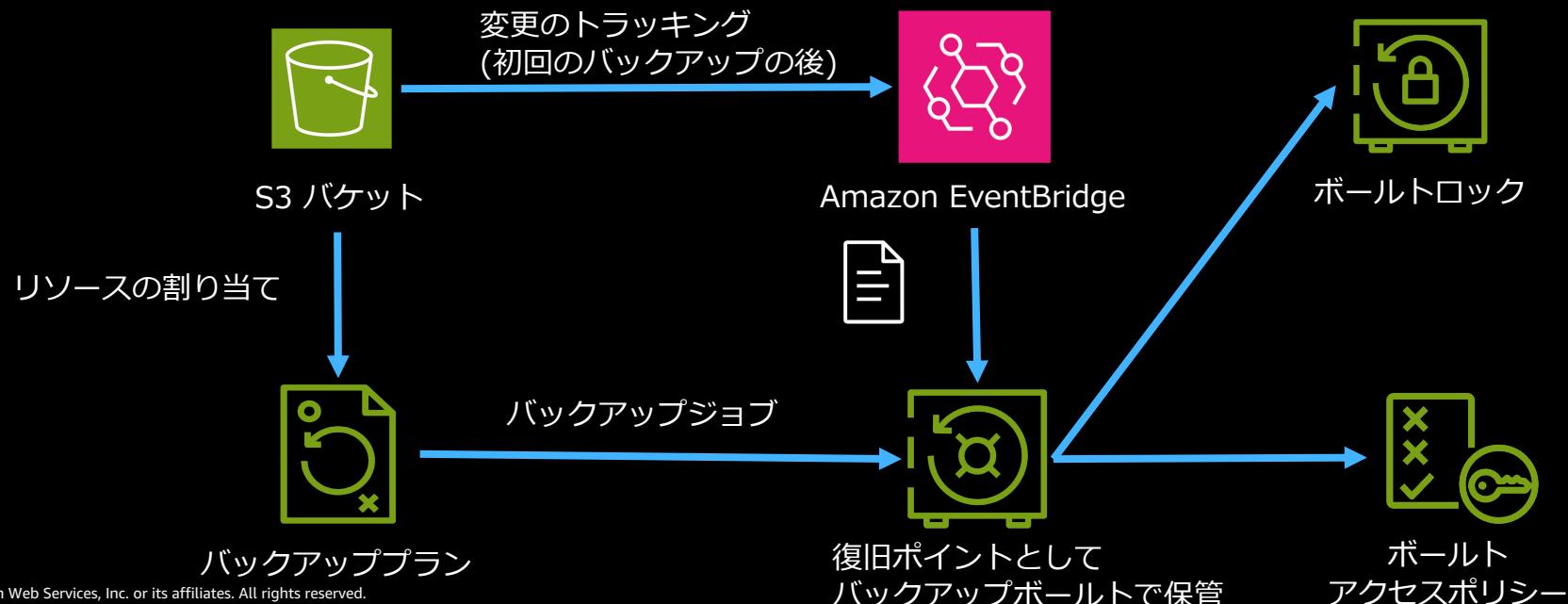
- 管理者がバックアップ対象の S3 バケットのバージョニングを有効にする必要がある
- バケットの設定内容はバックアップの対象外  
→リストア後にバケットの設定内容を管理者が見直す必要がある
- S3 Glacier Flexible Retrieval と S3 Glacier Deep Archive はサポート対象外



# Amazon S3 の継続的なバックアップ

## ～仕組み

- 最初のバックアップはフルバックアップが取得され、それ以降は増分バックアップが取得される
  - AWS Backup は Amazon EventBridge と連携して S3 イベントを受信し、変更をトラッキングする
- 対象 S3 バケットのイベント通知を無効にすると継続的なバックアップは停止する



# Amazon S3 の継続的なバックアップ ～定期的なバックアップとの違い

	継続的なバックアップ	定期的なバックアップ
保持期間	最大 35 日まで設定可能	35 日以上の任意の期間を設定可能
復元の粒度	特定の期間に任意のタイミングを復元できる	バックアップを取得した時点にのみ復元できる
仕組み	Amazon Backup は Amazon EventBridge を利用して、常にオブジェクトの変更をトラッキングする	Amazon Backup はバケット全体をスキャンし、各オブジェクトの ACL とタグを取得する
コスト	バケット全体のスキャンに関するコストがかからない	大量のオブジェクト数の場合リクエストに関するコストも徐々に増加する

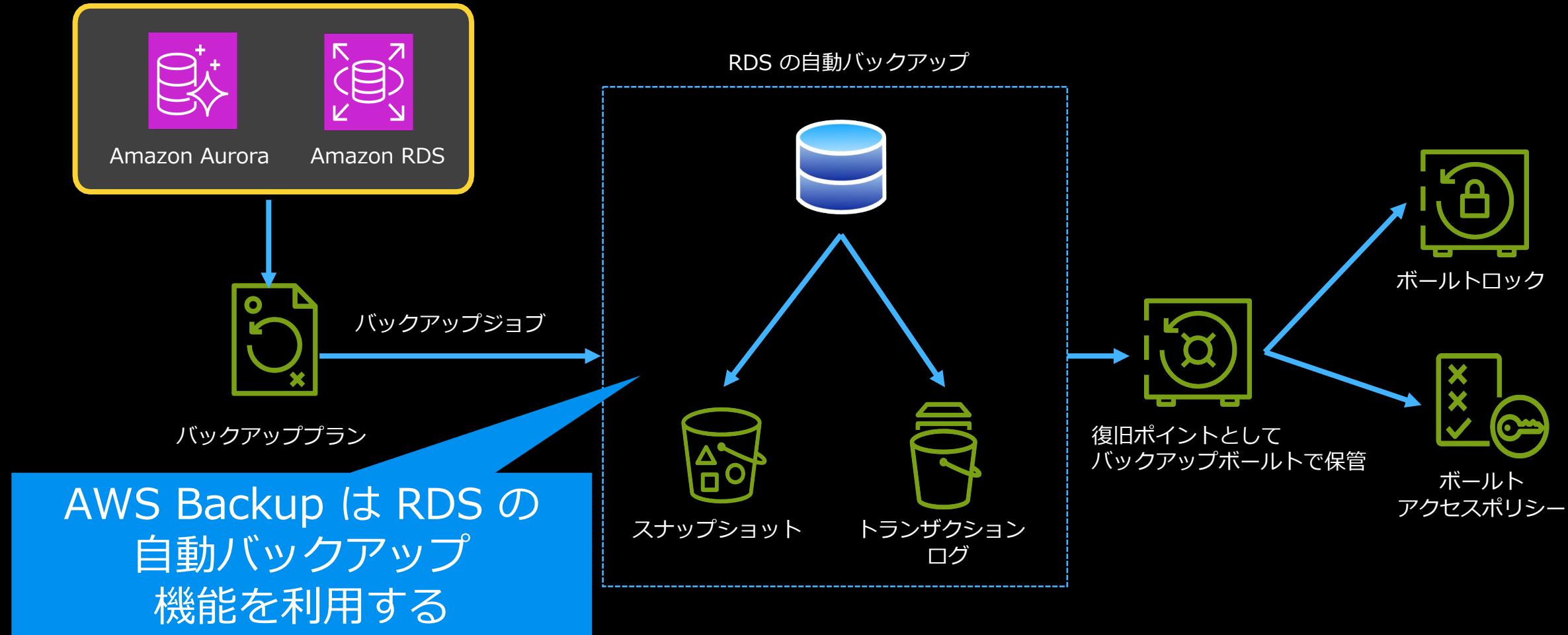


# Amazon RDS・Amazon Aurora における 継続的なバックアップ～前提条件

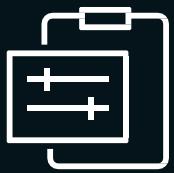
- ・ バックアッププランにて継続的なバックアップを設定される場合、管理者が RDS のバックアップウィンドウを手動で設定できなくなる
- ・ RDS Custom for SQL Server と RDS Custom for Oracle はサポートの対象外



# Amazon RDS・Amazon Aurora における 継続的なバックアップ～仕組み



# AWS Backup で Amazon RDS の自動バックアップを管理するメリット



## 一元管理

- 複数の AWS サービスのバックアップ管理
- バックアップの実行状況を統合的に監視・レポート



## セキュリティ

- ボルトロック
- ボルトアクセスポリシー



## 運用効率化

- 組織でクロスアカウントモニタリング

# Amazon RDS・Amazon Aurora における継続的なバックアップ～定期的なバックアップとの違い

	継続的なバックアップ	定期的なバックアップ
保持期間	最大 35 日まで設定可能	35 日以上の任意の期間を設定可能
復元の粒度	特定の期間に任意のタイミングを復元できる	バックアップを取得した時点にのみ復元できる
仕組み	常に増分バックアップであり、日次によるスナップショットと高頻度でのトランザクションログのバックアップをマネージドな Amazon S3 にアップロードする	RDS のスナップショットは増分バックアップ方式を使用していますが、Aurora のスナップショットは常にフルバックアップである

※コストの詳細については以下の記事を参照ください:  
<https://aws.amazon.com/blogs/database/demystifying-amazon-rds-backup-storage-costs/>

# 継続的なバックアップの設定

# 継続的なバックアップの設定 ～バックアッププランの作成

- 継続的なバックアップを設定するために、管理者がバックアッププランを作成する必要がある
- バックアッププランの作成画面から、「新しいプランを立てる」を選択するとバックアッププランをカスタマイズできる



# 継続的なバックアップの設定 ～PITR の有効化

バックアップルールの設定 [情報](#)

スケジュール

バックアップルール名

continuous-backup-rule

バックアップルール名では大文字と小文字が区別されます。1~50 文字の英数字または「\_」を含める必要があります。

バックアップポート | [情報](#)

Default [▼](#) [C](#) 新しいポートを作成 [\[+\]](#)

バックアップルール - ガバナンスマードのポートロック  
最小保持期間: 1 日 | 最大保持期間: -

バックアップ頻度 | [情報](#)

毎日 [▼](#)

バックアップ期間 [情報](#)

開始時間

バックアップを開始する時刻を指定します。時間単位の頻度では、開始時刻は1日のうちで初めてバックアップが作成される時刻です。該当する場合、時刻はサマータイムに合わせて調整され、1年を通して同じ現地時間が維持されます。

00 [▼](#) : 30 [▼](#) Asia/Tokyo (UTC+09:00) [▼](#)

次の時間以内に開始 | [情報](#)

指定した時間にバックアッププランが開始されない場合は、バックアッププランが開始される期間を指定します。

8 時間 [▼](#)

次の時間以内に完了 | [情報](#)

7 日 [▼](#)

ポイントインタイムリカバリ [情報](#)

ポイントインタイムリカバリ (PITR) のために継続的なバックアップを有効化

継続的なバックアップでは、選択した特定の時刻(1秒単位で指定でき、最大35日前まで)に巻き戻すことによって、AWS Backup でサポートされているリソースを復元できます。Aurora, RDS, S3, および SAP HANA on Amazon EC2 リソースで使用できます。

継続的なバックアップ  
の有効化



# 継続的なバックアップの設定 ～保持期間の設定

ライフサイクル 情報

コールドストレージ | 情報

バックアップをウォームストレージからコールドストレージに移動  
CloudFormation、高度な機能を備えた DynamoDB、EFS、SAP HANA、Timestream、および VMware 仮想マシンで利用できます。リソースタイプの中には、インクリメンタルバックアップをフルバックアップに変換するものもあります。最低でも 90 日の保持が必要です。

合計保持期間 | 情報  
バックアップを保存する期間を AWS Backup に指示します。

35 日数 ▾

継続的バックアップの保持期間は 1~35 日です。

合計保持 (日)

1~35 日までの保持期間を指定可能

1 ~ 35 日までの保持期間を指定可能

ウォームストレージ

# 継続的なバックアップの設定 ～コピーオプション

**コピー先にコピー - オプション 情報**  
別のバックアップポールトまたは論理的にエアギャップのあるポールトにバックアップのコピーを作成します。

**リージョン**  
アジアパシフィック(大阪) ▼ 削除

別のアカウントのポールトにコピー

**送信先ポールト**  
バックアップコピーが作成されるポールト。  
Default ▼ 新しいポールトを作成

**バックアップポールト**

**ライフサイクル**  
追加のバックアップコピーの合計保持期間とコールドストレージ設定を指定します。

バックアップルールと同じ設定を使用する  
コールドストレージ: 有効になっていません; 合計保持期間: 5 週

ライフサイクルをカスタマイズ

**コピーを追加**

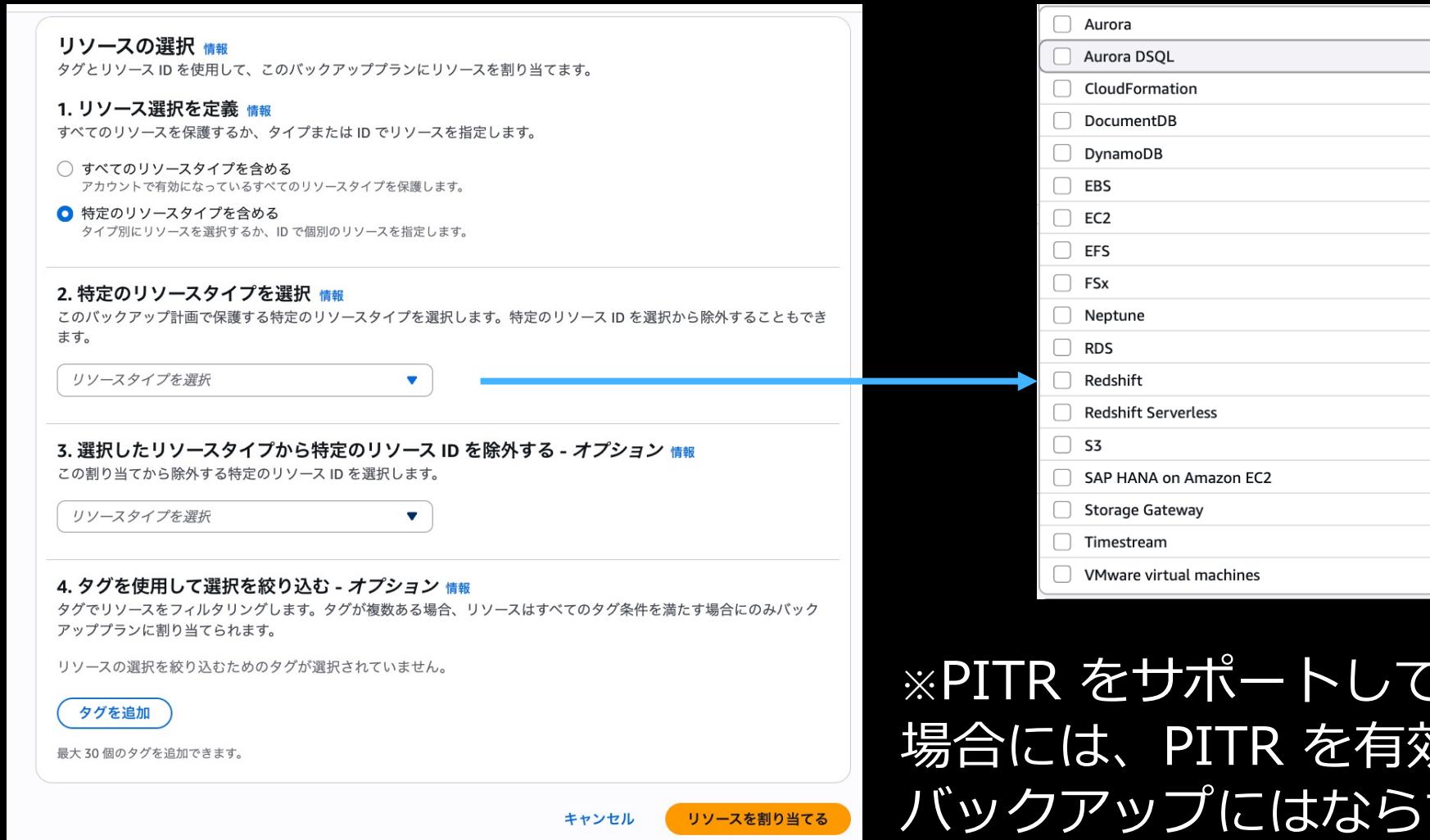
**復旧ポイントに追加されたタグ - オプション**  
AWS Backup が作成時に保護されたリソースから復旧ポイントにタグをコピーします。追加のタグを指定して、復旧ポイントに追加できます。

タグがありません。

**新しいタグを追加**

最大 50 個のタグをさらに追加できます。

# 継続的なバックアップの設定 ～保護対象リソースの割り当て



リソースの選択 情報  
タグとリソース ID を使用して、このバックアッププランにリソースを割り当てます。

**1. リソース選択を定義 情報**  
すべてのリソースを保護するか、タイプまたは ID でリソースを指定します。

すべてのリソースタイプを含める  
アカウントで有効になっているすべてのリソースタイプを保護します。

特定のリソースタイプを含める  
タイプ別にリソースを選択するか、ID で個別のリソースを指定します。

**2. 特定のリソースタイプを選択 情報**  
このバックアップ計画で保護する特定のリソースタイプを選択します。特定のリソース ID を選択から除外することもできます。

リソースタイプを選択 ▾

**3. 選択したリソースタイプから特定のリソース ID を除外する - オプション 情報**  
この割り当てから除外する特定のリソース ID を選択します。

リソースタイプを選択 ▾

**4. タグを使用して選択を絞り込む - オプション 情報**  
タグでリソースをフィルタリングします。タグが複数ある場合、リソースはすべてのタグ条件を満たす場合にのみバックアッププランに割り当てられます。

リソースの選択を絞り込むためのタグが選択されていません。

タグを追加

最大 30 個のタグを追加できます。

キャンセル リソースを割り当てる

- Aurora
- Aurora DSQL
- CloudFormation
- DocumentDB
- DynamoDB
- EBS
- EC2
- EFS
- FSx
- Neptune
- RDS
- Redshift
- Redshift Serverless
- S3
- SAP HANA on Amazon EC2
- Storage Gateway
- Timestream
- VMware virtual machines

※PITR をサポートしていないリソースの場合には、PITR を有効にしても継続的なバックアップにはならず、スナップショットを取得する動作になる

# 継続的なバックアップの設定 ～バックアップジョブの実行

- ・ バックアップジョブの一覧画面から実行されたジョブの状況を確認可能
- ・ ジョブが正常に実行された場合「完了」のステータスになる

ジョブ

ジョブでは、バックアップ、復元、コピーアクティビティのステータスや他の詳細をモニタリングできます。

バックアップジョブ | 復元ジョブ | コピージョブ

バックアップジョブ (49) 情報

定期的なバックアップまたはオンデマンドバックアップの記録。

Q ジョブID、ステータス、リソースID、リソースタイプ、またはメッセージカテゴリでバックアッ

バックアップジョブ ID	ステータス	リソース名	メッセージカテゴリ	リソース ID	リソースタイプ	作成時間	開始の基準
<a href="#">08B9F1C3-6E75-C422-5C13-90EF7B3CCB5B</a>	完了	aurora-database	成功	aurora-database	Aurora	2025年8月4日, 8:30 (UTC+09:00)	2025年8月4日, 9:30 (UTC+09:00)
<a href="#">E84BA4A9-5A61-5F11-C57C-0974D76E3350</a>	完了	database-1	成功	database-1	RDS	2025年8月4日, 8:30 (UTC+09:00)	2025年8月4日, 9:30 (UTC+09:00)
<a href="#">4F2E9B04-B3E8-56D5-2344-9B03B55D19B3</a>	完了	aurora-database	成功	aurora-database	Aurora	2025年8月4日, 7:30 (UTC+09:00)	2025年8月4日, 8:30 (UTC+09:00)
<a href="#">9BB3F312-6938-DDEF-9877-0A3056D20C59</a>	完了	database-1	成功	database-1	RDS	2025年8月4日, 7:30 (UTC+09:00)	2025年8月4日, 8:30 (UTC+09:00)
<a href="#">9F4CCF15-36BB-0CB7-BA87-A94CD7DC10F5</a>	完了	database-1	成功	database-1	RDS	2025年8月4日, 6:30 (UTC+09:00)	2025年8月4日, 7:30 (UTC+09:00)
<a href="#">10913DCF-DBDA-1955-A929-0212B3126DF6</a>	完了	aurora-database	成功	aurora-database	Aurora	2025年8月4日, 6:30 (UTC+09:00)	2025年8月4日, 7:30 (UTC+09:00)
<a href="#">9D5892F9-B7B2-07EE-B3EB-EF5BC6494F2E</a>	完了	database-1	成功	database-1	RDS	2025年8月4日, 5:30 (UTC+09:00)	2025年8月4日, 6:30 (UTC+09:00)
<a href="#">40FF7B3E-92D9-A7B2-6DE5-CD07E80FC687</a>	完了	aurora-database	成功	aurora-database	Aurora	2025年8月4日, 5:30 (UTC+09:00)	2025年8月4日, 6:30 (UTC+09:00)
<a href="#">83D5BCBD-BAF0-EAAE-1831-0868B6B64822</a>	完了	database-1	成功	database-1	RDS	2025年8月4日, 4:30 (UTC+09:00)	2025年8月4日, 5:30 (UTC+09:00)
<a href="#">E0073134-9E64-D0CF-27B4-99DB34A7F2D9</a>	完了	aurora-database	成功	aurora-database	Aurora	2025年8月4日, 4:30 (UTC+09:00)	2025年8月4日, 5:30 (UTC+09:00)

C バックアップジョブの停止 | レポートを作成 | 過去 24 時間 ▾

# 継続的なバックアップの設定 ～復旧ポイントの生成

- 初回のバックアップジョブの実行後、復旧ポイントが生成される
- 継続的なバックアップにおいて、一つの復旧ポイントのみ生成される
- PITR の復旧ポイントは「continuous」から始まる復旧ポイント ID であり、バックアップタイプに「連続」と表示される

復旧ポイント (6) <a href="#">情報</a>				
	復旧ポイント ID	ステータス	バックアップタイプ	作成時間
<input type="radio"/>	continuous:db-wxuj6mcphnx6ydwjbqmi6gb3fi-6ee11c7d	完了	連続	2025年7月20日, 15:51 (UTC+09:00)
<input type="radio"/>	awsbackup:job-500a9c01-f2fe-c7ee-f955-c7c19e805b4d	完了	スナップショット	2025年7月20日, 15:30 (UTC+09:00)
<input type="radio"/>	rds:database-1-2025-07-20-06-18	完了	スナップショット	2025年7月20日, 15:19 (UTC+09:00)
<input type="radio"/>	database-1-snapshot	完了	スナップショット	2023年9月5日, 17:23 (UTC+09:00)
<input type="radio"/>	snap-34	完了	スナップショット	2023年9月5日, 11:03 (UTC+09:00)
<input type="radio"/>	snap-1	完了	スナップショット	2023年9月5日, 10:39 (UTC+09:00)

# AWS CLI による継続的なバックアップの有効化

EnableContinuousBackup パラ  
メーターを設定することで継続的な  
バックアップを有効化できる

```
[ec2-user@ip-172-31-47-161 ~]$ aws backup create-backup-plan  
[--backup-plan "{\"BackupPlanName\":\"Example-Backup-Plan\", \"Rules\":[{\"RuleName\":\"DailyBackups\", \"ScheduleExpression\":\"cron(0 5 * * *)\", \"StartWindowMinutes\":480, \"EnableContinuousBackup\":true, \"TargetBackupVaultName\":\"Default\", \"Lifecycle\":{\"DeleteAfterDays\":30}}]}"]  
  
{"  
    "BackupPlanId": "4ff58d30-8133-4805-b560-4c95d0f01406",  
    "BackupPlanArn": "arn:aws:backup:ap-northeast-1:XXXXXXXXXXXX:backup-plan:4ff58d30-8133-4805-b560-4c95d0f01406",  
    "CreationDate": "2025-07-20T07:04:48.930000+00:00",  
    "VersionId": "YTA0NzAxNzYtYWVhZC00YTI3LWJ1NjktOGRlNTkzZGEyNDI1"  
}
```

正常に実行できるとバックアップ  
プランの情報が返される

# AWS CLI による保護対象リソースの割り当て

```
[ec2-user@ip-172-31-47-161 ~]$ aws backup create-backup-selection \
--backup-plan-id "2647696e-76d6-4417-af59-e4e950fc775a" \
--backup-selection '{
    "SelectionName": "S3BackupSelection",
    "IamRoleArn": "arn:aws:iam::[REDACTED]:role/service-role/AWSBackupDefaultServiceRole",
    "Resources": [
        "arn:aws:s3:::[REDACTED]"
    ]
}'
{
    "SelectionId": "871bbaf2-0617-4f31-abdb-bf2ef1c5d221",
    "BackupPlanId": "2647696e-76d6-4417-af59-e4e950fc775a",
    "CreationDate": "2025-08-05T00:03:25.730000+00:00"
}
```

リソースの指定

```
[ec2-user@ip-172-31-47-161 ~]$ aws backup get-backup-selection --backup-plan-id 2647696e-76d6-4417-af59-e4e950fc775a --selection-id 871bbaf2-0617-4f31-abdb-bf2ef1c5d221
{
    "BackupSelection": {
        "SelectionName": "S3BackupSelection",
        "IamRoleArn": "arn:aws:iam::[REDACTED]:role/service-role/AWSBackupDefaultServiceRole",
        "Resources": [
            "arn:aws:s3:::[REDACTED]"
        ],
        "ListOfTags": [],
        "NotResources": [],
        "Conditions": {
            "StringEquals": [],
            "StringNotEquals": [],
            "StringLike": [],
            "StringNotLike": []
        }
    },
    "SelectionId": "871bbaf2-0617-4f31-abdb-bf2ef1c5d221",
    "BackupPlanId": "2647696e-76d6-4417-af59-e4e950fc775a",
    "CreationDate": "2025-08-05T00:03:25.730000+00:00"
}
```

タグ、特定のリソース  
を除外するなどの条件  
を設定できる

# PITR を行う復元操作

# Amazon S3 における AWS Backup PITR の復元操作

- 復元可能な最後の時刻、もしくは復元日時が指定可能

**ポイントインタイムに復元**

次からバックアップを復元

2025年6月23日, 19:00:14 (UTC+09:00) 以降。  
復元可能な最後の時刻

日付と時刻を指定  
18 日～22 日 前の時刻を選択します。

2025/06/23  19:00:14 (UTC+09:00)

2025年6月23日, 19:00:14 (UTC+09:00)～2025年6月20日, 02:43:48 (UTC+09:00) の間で任意の日時を指定します。

**復元可能な最後の時刻**  
2025年6月23日, 19:00:14 (UTC+09:00)

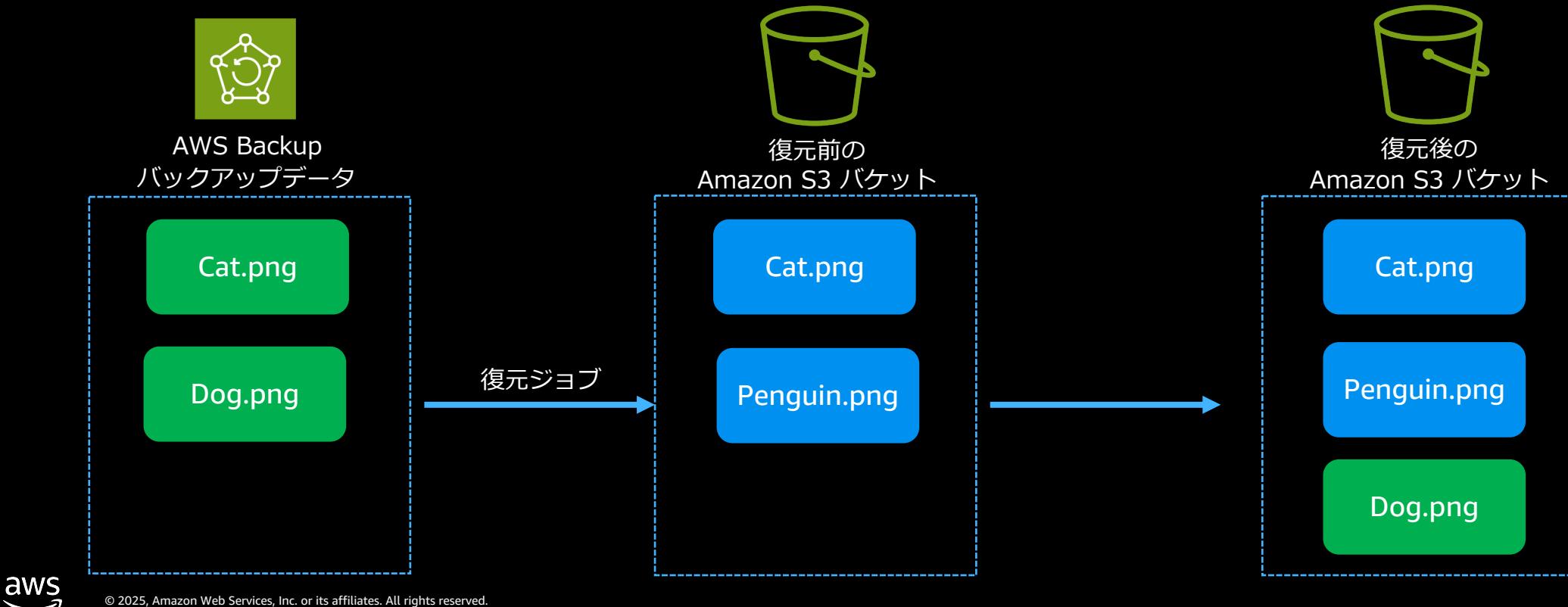
**復元可能な最も早い時刻**  
2025年6月20日, 02:43:48 (UTC+09:00)

# Amazon S3 における AWS Backup PITR の復元操作～設定項目



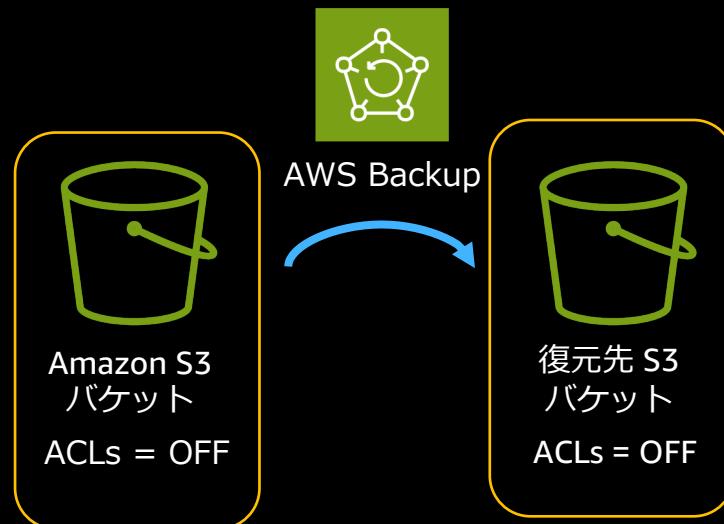
# Amazon S3 における AWS Backup PITR の復元操作～注意事項

- Amazon S3 は、直近 15 分間のアクティビティまで復元できる
- 復元先バケットに同じオブジェクト名が存在する場合、AWS Backup は該当するオブジェクトの復元をスキップする



# Amazon S3 における AWS Backup PITR の復元操作～注意事項

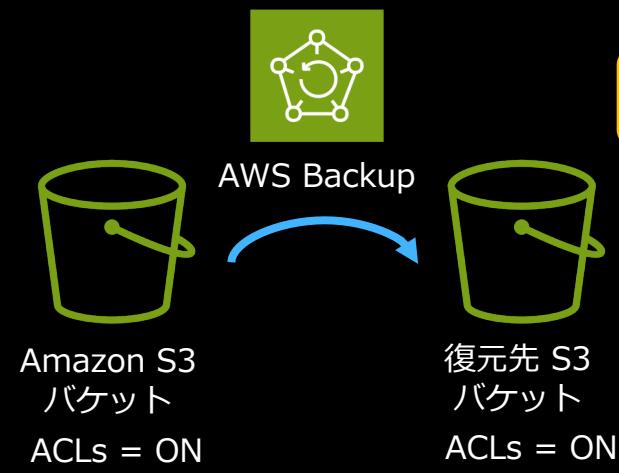
- AWS Backup における Amazon S3 のバックアップにおいて、バケットの Access Control List (ACLs) をバックアップしないことを設定できる
- バックアップの取得時に ACLs のバックアップを有効にする場合、復元先バケットで ACLs を復元するためには、復元先バケットでの ACLs 有効化が必須



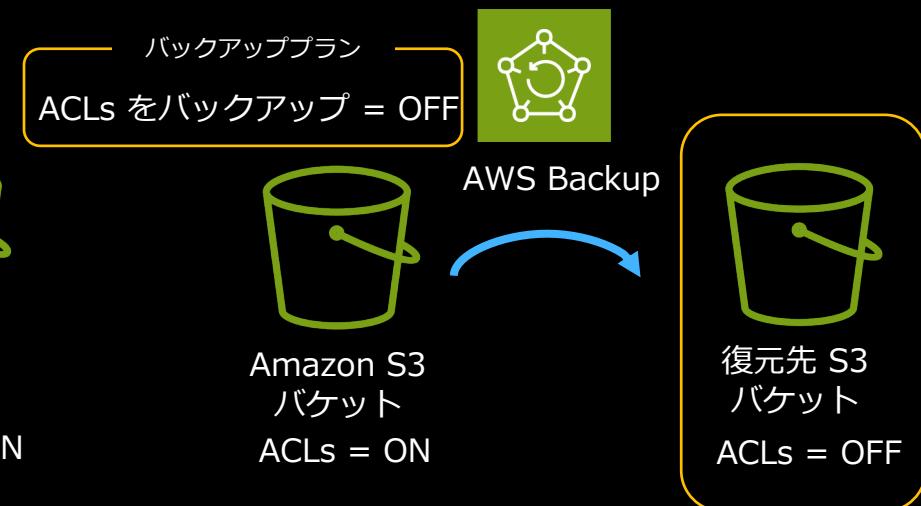
基本・ACLs 利用しない  
(Amazon S3 は ACLs の無効化は推奨されている)



© 2025, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.



ACLs を引き続き利用する  
必要がある場合



ACLs の利用を解除しても  
差し支えないと判断できる場合

# Amazon RDS・Amazon Aurora における PITR の復元～設定項目

### インスタンス仕様

DB エンジン  
このインスタンスに使用されるデータベースエンジンの名前  
mysql

ライセンスマodel  
データベースエンジンに関連付けられているライセンスタイプ  
general-public-license

DB インスタンスクラス  
DB インスタンスの計算キャパシティとメモリキャパシティが含まれています。  
- 1 つ選択してください -

ストレージタイプ [情報](#)  
汎用 SSD (gp2)

### 可用性と耐久性

デプロイオプション  
以下のデプロイオプションは、上記で選択したエンジンでサポートされているものに制限されています。

スタンバイインスタンスの作成 (本稼働環境での使用に推奨)  
別のアベイラビリティゾーン (AZ) にスタンバイを作成し、データの冗長性を提供し、I/O フリーズを排除し、システムバックアップ中のレイテンシーの急上昇を最小限に抑えます。

スタンバイインスタンスを作成しない

### 設定

DB スナップショット ID  
DB スナップショットの識別子。  
rds:database-1-2025-07-30-00-42

DB インスタンス識別子 [情報](#)  
restore-database-1

### ネットワークとセキュリティ

仮想プライベートクラウド (VPC) [情報](#)  
VPC はこの DB インスタンスの仮想ネットワーク環境を定義します。

デフォルトの VPC (vpc-XXXXXX) [G](#)

対応する DB サブネットグループを持つ VPC だけが一覧表示されます。

サブネットグループ [情報](#)  
選択した VPC で DB インスタンスが使用できるサブネットと IP 範囲を定義する DB サブネットグループ。

rds-ec2-db-subnet-group-1

パブリックアクセスibiliti [情報](#)

はい  
DB インスタンスをホストしている VPC 外の EC2 インスタンスおよびデバイスは、インスタンスに接続します。DB インスタンスに接続できる EC2 インスタンスとデバイスを指定する 1 つ以上の VPC セキュリティグループも選択する必要があります。

いいえ  
DB インスタンスにはパブリック IP アドレスが割り当てられません。EC2 インスタンスや VPC 外のデバイスは接続できません。

### データベースオプション

データベースポート [情報](#)  
データベースが接続を受け付けるポート番号。

3306

DB パラメータグループ [情報](#)  
default.mysql8.0

オプショングループ [情報](#)  
default:mysql-8-0

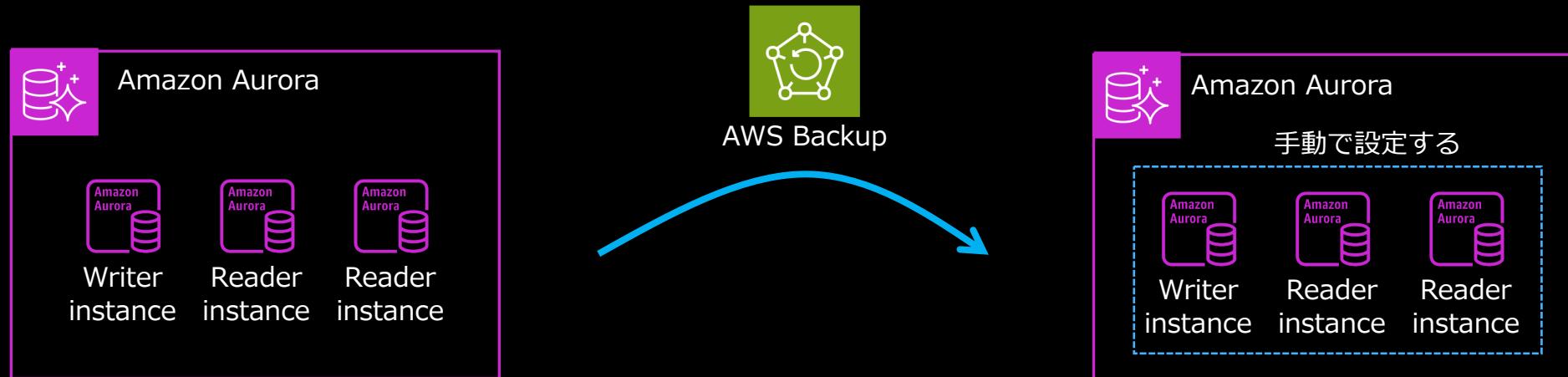
IAM DB 認証を有効化

IAM DB 認証を有効にする  
AWS IAM ユーザーとロールを介してデータベースユーザー認証情報を管理します。

無効にする

# Amazon RDS・Amazon Aurora における PITR の復元～注意事項

- AWS Backup における Amazon RDS・Amazon Aurora の継続的なバックアップは直近の 5 分間のアクティビティまで復元可能
- 既存のリソースに復元できず、新しいリソースが作成される
- Amazon Aurora の復元はクラスターのみであり、DB インスタンスの作成やクラスターへのアタッチは行われない



# 復元ジョブの確認

- ジョブ一覧の復元ジョブにて復元ジョブのステータスを確認できる
- 正常に復元できた場合、「完了」のステータスになる

## ジョブ

ジョブでは、バックアップ、復元、コピーアクティビティのステータスや他の詳細をモニタリングできます。

The screenshot shows the AWS Backup console interface. At the top, there are three tabs: 'Backup Jobs' (disabled), 'Recovery Jobs' (selected, indicated by a blue underline), and 'Copy Jobs'. Below the tabs, a message says 'Recovery Jobs (2) Information' and 'Backup restore log.' A search bar allows filtering by 'Job ID, Status, or Resource ID'. To the right are buttons for 'Create Report' and 'Last 24 Hours'. The main area displays a table with the following data:

Recovery Job ID	Status	Restore Time	Restore Type	Resource ID	Resource Type	Creation Time	Recovery Point ID
<a href="#">3497F403-3289-5BB5-CCAF-D6C9A82A7FDE</a>	<span>✖ Failed</span>	1 minute ago	Restore	[REDACTED]	S3	2025年8月1日, 10:46 (UTC+09:00)	continuous: [REDACTED]
<a href="#">1C6162D2-1F00-1D6A-4B58-2F7BD572A8B1</a>	<span>✔ Completed</span>	8 minutes ago	Restore	[REDACTED]	S3	2025年7月31日, 23:46 (UTC+09:00)	continuous: [REDACTED]

# AWS CLI による PITR の復元

- start-restore-job コマンドにより復旧ポイントを使用して復元できる
- --metadata にてリソースのメタデータを指定する必要がある
- リソースによって、メタデータが異なる

```
[ec2-user@ip-172-31-47-161 ~]$ cat s3-restore-metadata.json
{
  "DestinationBucketName": "t[REDACTED]",
  "Encrypted": "true",
  "NewBucket": "false",
  "CreationToken": "retoretst",
  "EncryptionType": "SSE-S3",
  "RestoreTime": "2025-08-01T11:30:27Z"
}
```

復元日時を  
指定する

```
[ec2-user@ip-172-31-47-161 ~]$ aws backup start-restore-job --recovery-point-arn "arn:aws:backup:ap-northeast-1:[REDACTED]:recovery-point:continuous:[REDACTED]"
--iam-role-arn "arn:aws:iam::[REDACTED]:role/service-role/AWSBackupDefaultServiceRole" --metadata file://s3-restore-metadata.json
{
  "RestoreJobId": "ADF5592A-2F18-B4AF-A00F-E612510787A8"
}
```

# PITR の考慮事項

# 継続的なバックアップの復旧ポイント

- リソースごとに作成できる継続的なバックアップは 1 つのみ
- 複数の継続的なバックアップを実行する際、以下のようなエラーが返される

バックアップ - 929CE856-6967-5E46-68AB-166EE025455A

バックアップジョブの詳細では、スケジュールされたバックアップまたはオンデマンドバックアップのレコードにアクセスできます。

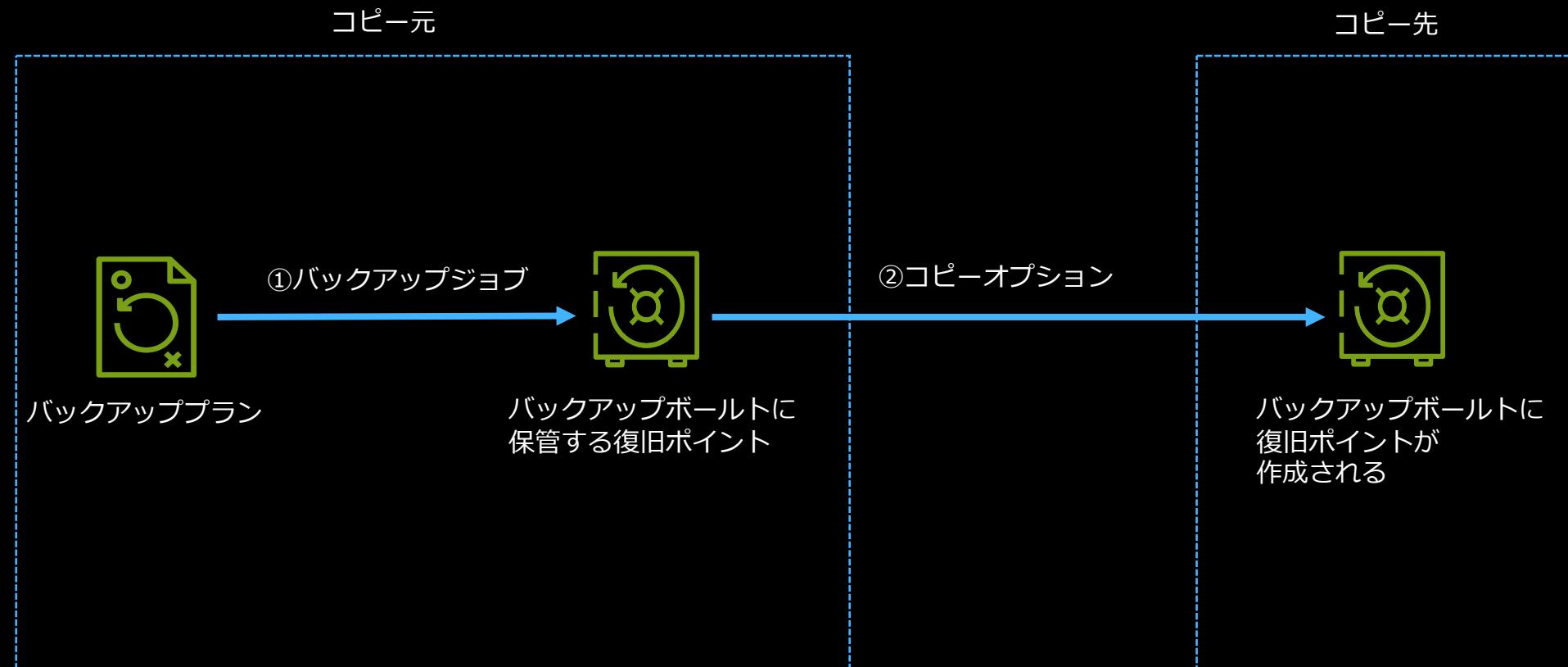
停止

詳細	ステータス	リソース名	リソース ID
復旧ポイント ARN arn:aws:backup:ap-northeast- [REDACTED]	失敗	[REDACTED]	[REDACTED]
リソースタイプ S3	作成日 2025年8月1日, 12:00 (UTC+09:00)	完了日 2025年8月1日, 12:30 (UTC+09:00)	
IAM ロール デフォルトのロール [?] [編集]	バックアッププラン overlap-Continuous-backup-plan		
	バックアップルール名 overlap-Continuous-backup-rule		

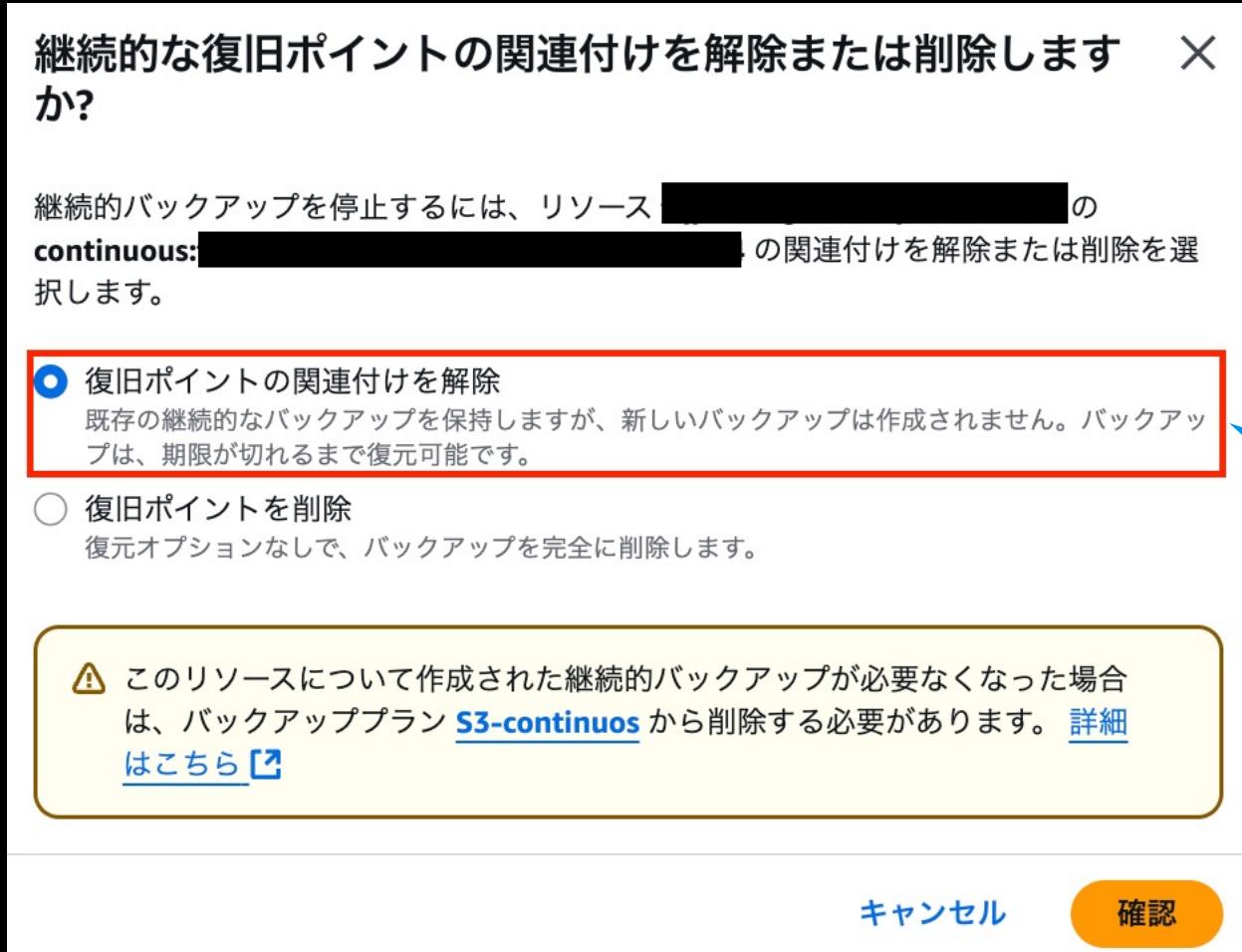
その他  
Bucket [REDACTED] already has continuous backup enabled for another vault Backup job failed.

# Amazon S3 の継続的なバックアップの考慮事項 ～バックアップのコピー～

- PITR のコピーはできず、代わりにスナップショットのコピーになる

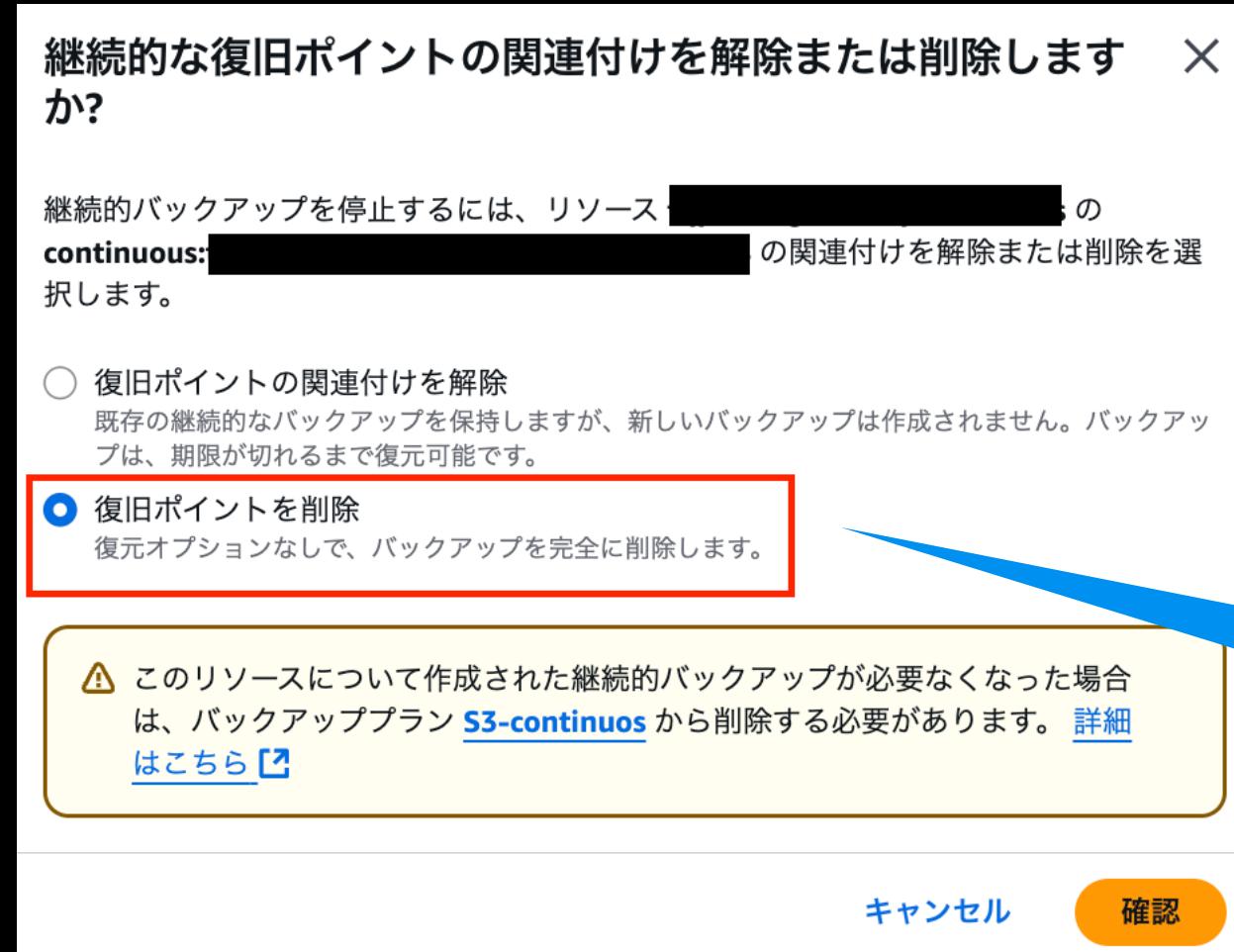


# Amazon S3 の継続的なバックアップの考慮事項 ～復旧ポイントの削除



復旧ポイントのステータスが「停止済み」になり、バックアップの期限が切れるまで復元可能

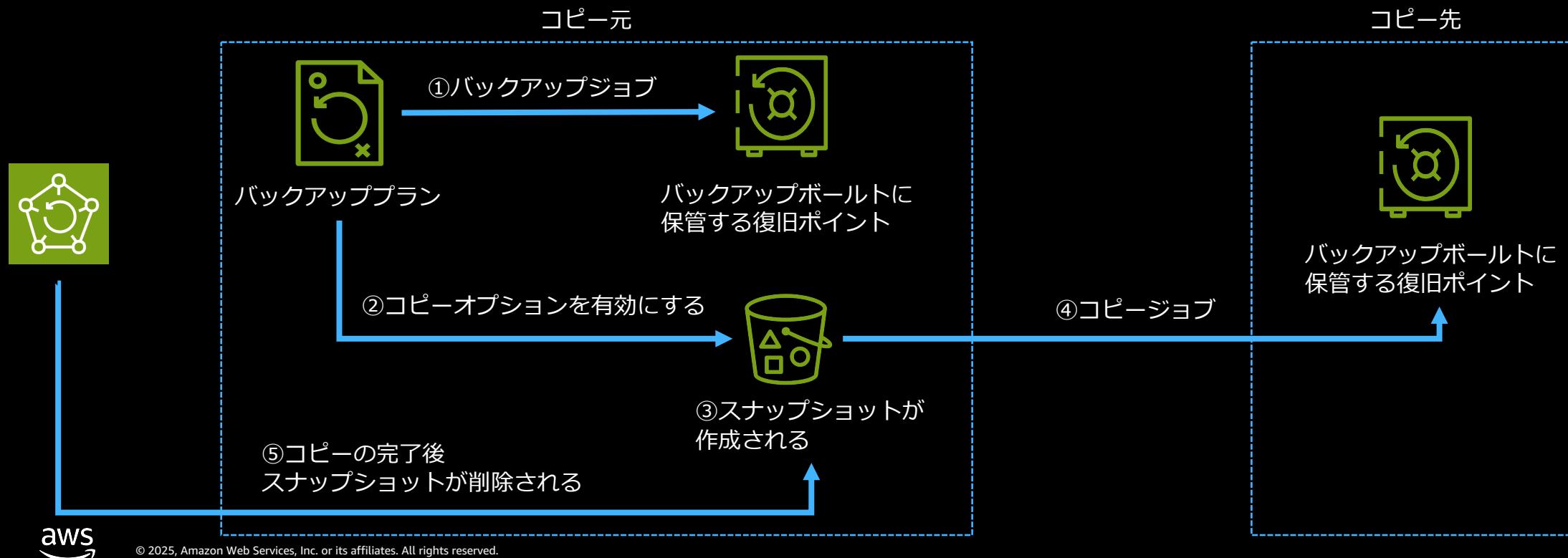
# Amazon S3 の継続的なバックアップの考慮事項 ～復旧ポイントの削除



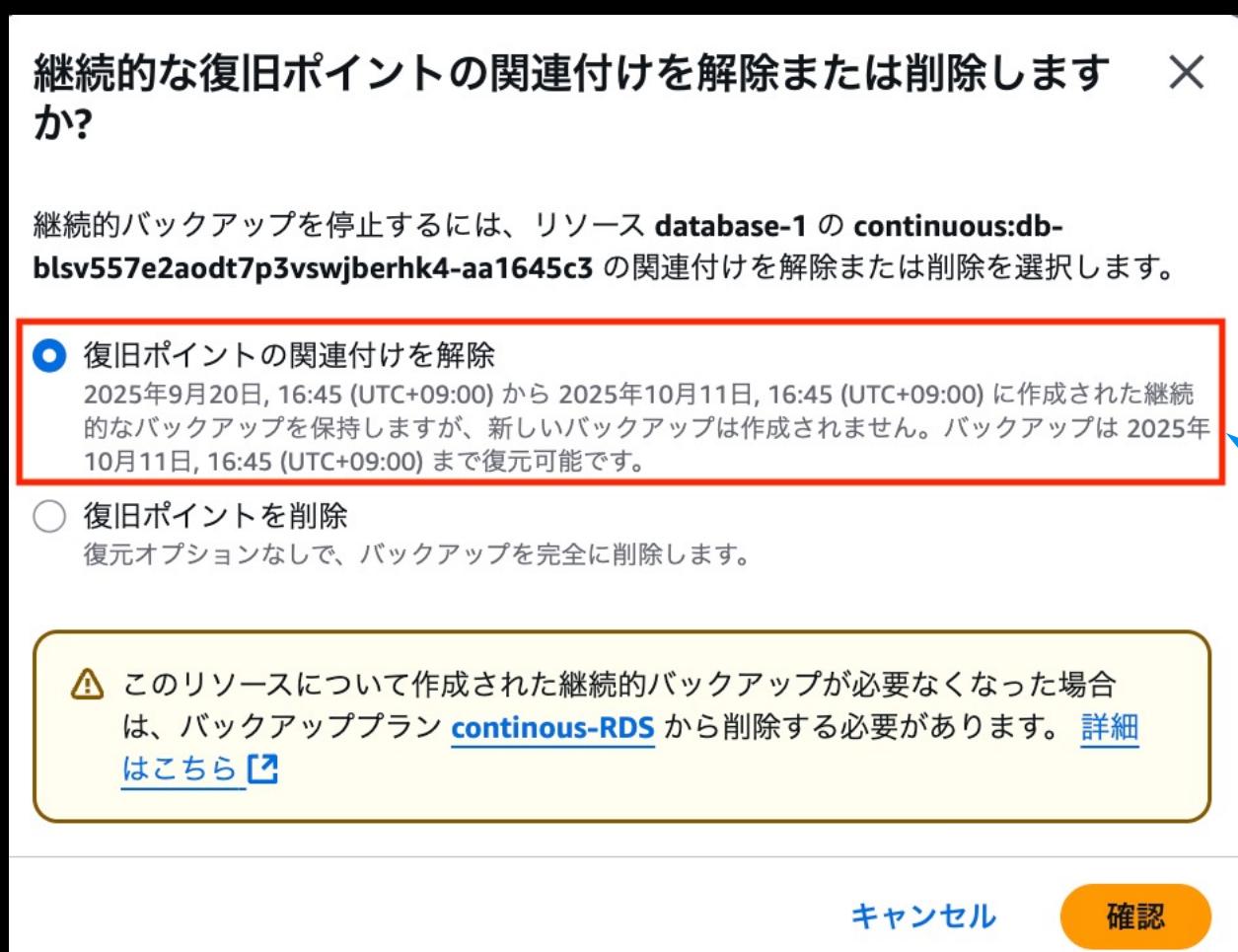
復旧ポイントを完全に削除  
されて、復元できなくなる

# Amazon RDS・Amazon Aurora の継続的なバックアップの考慮事項

- Amazon S3 と同様に PITR のコピーはできず、代わりにスナップショットが作成されてコピーに行われる
- コピーの完了後、AWS Backup はコピー元のスナップショットを削除する

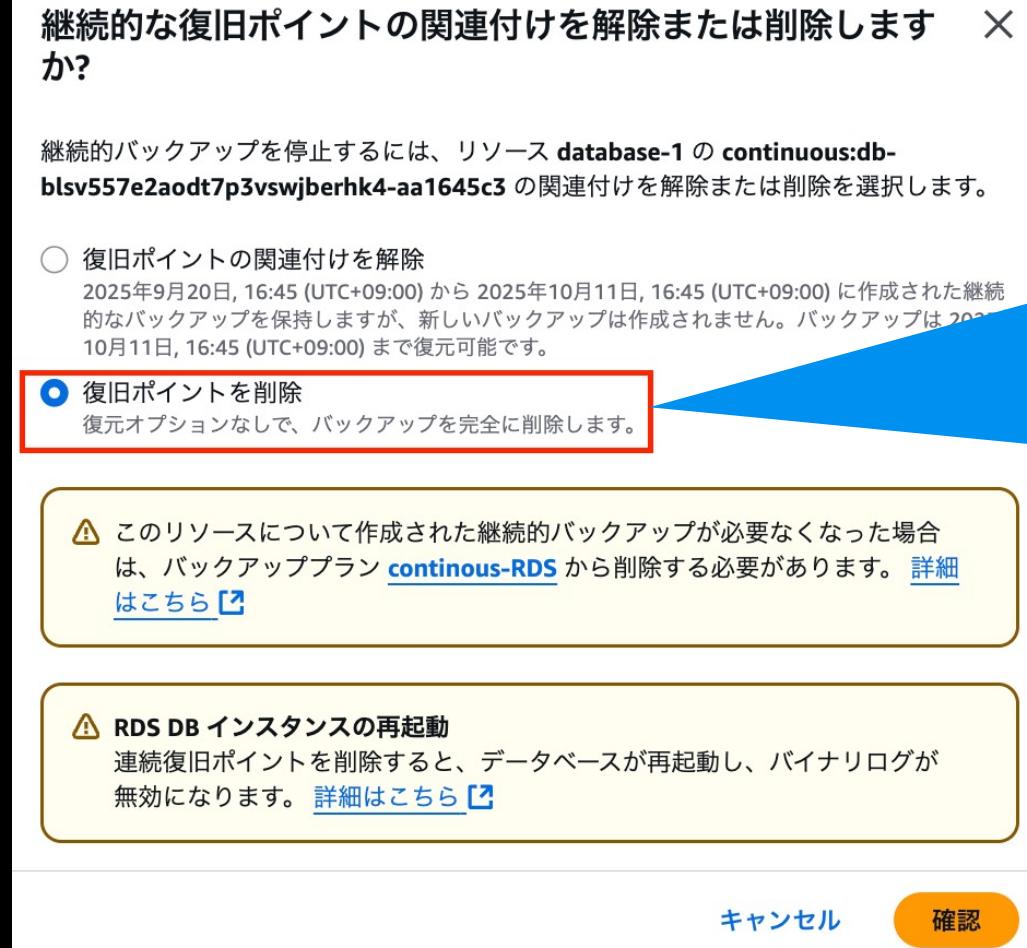


# Amazon RDS・Amazon Aurora の継続的なバックアップの考慮事項～復旧ポイントの削除



- 復旧ポイントを削除し、Amazon RDS・Amazon Aurora にコントロールをリリースする
- Amazon RDS・Amazon Aurora にバックアップデータを保存するので復元可能

# Amazon RDS・Amazon Aurora の継続的なバックアップの考慮事項～復旧ポイントの削除



## RDS の場合:

- ・バックアップデータを完全に削除されて、復元できなくなる
- ・自動バックアップが無効化になる

## Aurora の場合:

- ・バックアップデータを完全に削除されず、Aurora 側から復元できる
- ・自動バックアップの保持期間は 1 日になる

# まとめ

# まとめ

- ・スナップショットベースのバックアップよりも、短い RPO が求められる場合、継続的なバックアップを利用可能
- ・継続的なバックアップの特徴：
  - 継続的にデータをバックアップし、PITR の復元が可能
  - 一部のリソースのみサポート
  - 増分バックアップ
- ・PITR の考慮事項
  - リソース毎に一つの継続的なバックアップのみ
  - 継続的なバックアップのコピーはサポートされていない(スナップショットコピーとなる)

# Thank you!

